

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2018年3月13日（火）18:30～20:30

場 所：虎ノ門 第二オカモトヤビル3階会議室

出席者：理 事：飯島、伊藤、北村、大谷、小川、尾山、庄野、関根、外山、平松、星野、丹羽、

監 事：藤田、望月

オブザーバー：北川

出席理事 12名 監事2名 オブザーバー1名

欠席者：理 事：黒岩、児玉、才藤、新通、羽柴、三輪

監 事：——

（敬称略）

尾山会長が議長となり、議事録作成人に北川、同署名人に庄野副会長を指名して、下記議案につき審議した

1. 1月全国加盟団体長連絡会議報告（議長）

1/21 加盟団体長連絡会議、1/22 外洋系団体長会議が、代々木にて行われた。

資料が回覧され、例年通り表彰関係その他資料記載の会議が行われたことが報告された。

2. 1月外洋系加盟団体長会議、および事務局長会議 報告（北川氏、平松理事）

（北川）1/22の団体長会議・事務局長会議の報告が行われた。前もって議事録は回覧された。

（平松理事）次期理事選などについて詳細な報告が行われた。

3. 2月専門委員会参加報告（飯島レース委員長、星野安全委員長、計測委員長代理北川氏）

（飯島レース委員長）

報告書が事務局に提出され、回覧され、特に下記について補足があった。

- ・レースオフィサー制度
- ・世界的にはORCが活発なので、ORCの採用もよろしくお願ひしますとの事
- ・ライフジャケットの件。外洋特別規定 附則B の説明がなされた

（星野安全委員長）

報告書が事務局に提出され、回覧された。

内容は専門委員会開催前から理事会で報告してきた内容と重複している。

（三輪ルール委員長代理関根理事）

香港でGPSのウェイポイントを利用したレースが行われ、大きなトラブルもなく制度として一考の価値がある

ルールブックのPDF版が1000円で購入できる

ケースブックは今まで舵社から販売されていたがJSAFが販売するようになった

1/1からRRS変更 支援者の不正行為による選手にペナルティをかける時の手続きが変更された

(計測委員長代理北川)

報告書が事務局に提出され、回覧され、特に下記について補足があった。

- ・以前のセールメジャー部会を解散して、IRC, ORC各委員会に直属する体制に変更した
- ・JSAF計測委員長の交代
- ・7月のオフショアワールドチャンピオンシップの成績算出法
- ・2018年発行ORC証書の数値の件

尚、各委員会からの専門委員会出張報告書はMOSCのホームページに掲載されている。

4. ルール講習会報告(三輪ルール委員長 代理関根理事)

20名の出席があった。

スタート時のルールに特化した内容にしてほしいといったリクエストに応えた勉強会を行った。

5. JSAF理事の出張経費に関して提案(議長)

JSAFの選挙理事に出張を依頼するときは、MOSCとも利害関係者であるので、実費経費について支払いしてはどうかと諮られた。

今までは、毎回議長から補助金支給の議題を出して理事会の判断で補助金を支給してきた。これを予算化したい。

(平松理事)当事者としてはとても助かる。地方で行われることが多く、経費がかさんでいる。

(大谷理事)MOSC設立当時とにかくお金がなく、できるだけ支出を抑えるために理事に自腹を切ってもらってきた伝統が続いている。いま、MOSCに、活動のための資金ができていながら、これからの理事や会員のためにも、支出するようにしても良いのではと思う。

などの意見が出て、総務委員会から出張を依頼する形が自然であると結論した。

今年度は前例に倣って補助金を支給する。来年度からは予算化して、交通費・宿泊費・会議参加費を支払うこととする。

6. レース関連報告(主催、共同主催レース)

(飯島レース委員長)

- ・湘南レースの件

2月の湘南レースにおいて、リビエラリゾートから運営艇1艇しか用意できないという打診があった。昨年12月も1艇だったがマークの打ち替えなどに大変苦勞した。

MOSC主催である以上参加艇に無駄な時間を待ってもらうのは避けたいので、レース委員会から、2艇用意できないなら上下のコースを減らすなどしてほしい旨を申し入れた。

結果、2月は2艇用意してもらえた。以降は上下レースに関しては2艇用意いただく約束ができた。

- ・ミドルボート選手権の共同主催申し込みの件

JSAF外洋系の会員であることがメリットである開催方法であることを確認して、承認する。

(外山理事)

ミドルボート選手権の最終日にシーボニアヨットクラブ50周年記念のオープンヨットレースを開催する。

ミドルミドルボートがスタートした後に同じスタートラインを使い、ファミリーでも楽しめる大会を考えている。景品をたくさん用意する。

ミドルボート選手権実行委員会が運営を担当する。

5日の表彰式も合同で行う。

7. MOSC理事フリートごとの定数の確認(議長)

各フリートの理事定員数について会則、会員数、定員の確認。

議長より、現状の佐島フリート2名、小網代フリート7名、シーボニアフリート9名体制で継続したいとのコメントがあった。

8. 理事定年規定に関して(平松理事)

平松理事から役員定年制導入が提案され、審議された。

理事も年齢を重ね、いきなりやめることになっても後任を育てる時間がない。理事改選は2年ごとだが、その年の4月1日に70歳の方は改選されないことにしたい。

定年後もMOSCのために協力頂ける方は、顧問として理事会で意見を述べるなどしていただくが、議決権などはないものとする。

各理事から反対意見は出ず、今年5月の総会に諮り、可決されれば会則の変更を行い、2年後2020年の改選から適用となる。

9. 平成30年度理事候補について(議長)

小網代フリートから坂口氏を検討している。次回理事会で継続審議する。

10. 平成29年度決算速報、予算案(事務局)

決算報告書、未収金、未払金の説明が報告された。

これまで交通費を事務局費用から出していたが、総務委員会に計上するようにした。

慶弔費は雑費から出していたが、慶弔費として計上するようにした。

議長から、安全委員会の特別予算の残額について次期に繰り越し、安全対策を充実したいが可能かと諮られ、繰越金にしないで新たに予算を組むと結論した。

11. 次期執行部に関して(議長)

継続審議中であった次期会長について、庄野副会長が任に当たることに決定した。

議長より、各委員長人事などに関しては、庄野次期会長より直接打診があると思われるが、各委員の方々は協力を惜しまないようコメントがあった。

12. 平成30年行事、記念大会、祝儀、その他の対応、理事定年制に付随して功労賞の授与について以下決定した。

MOSCのフリートが行う記念事業について、お祝いとして何らかの支援を行う。

慶弔費から花代を出す。

理事70歳定年制が可決された場合、定年となる理事に功労賞を出す。

13. その他

アニオルズカップ2018への支援について、礼状が回覧された。

星野理事 3/17安全講習会の件 現在正式な申し込みは10名弱。
今回MOSC会員は無料なのでほかにも参加したいという声がある。リビエラリゾートさんからも10名ほどまとめて参加申し込みしたいと話が来ている。
海上保安庁第三管区から当日横須賀支部交通課の方が来てくださり話を聞けることになった。

平松理事 全日本ミドルボートクラス協会が設立される。
これは関東ミドルボートオーナーズクラブとは別である。
関西、東海持ち回りで開催されているミドルボート全日本選手権大会において、レース委員会から「クラス協会がない全日本レースは認めない」話が出たため設立され、JSAFに申請が出ており、承認される見込みである。
当初は関東ミドルボートオーナーズクラブの定義するミドルボートとは水線長の定義が異なっていたのだが、これを同じ範囲としてもらえることになったので、関東ミドルボートオーナーズクラブも協力していくこととなった。
東京オリンピックに向けてのダブルハンドショウケースイベントについて、WSから東京でやらなくてよろしいと通知が来た。2024年パリオリンピックのテストイベントとして、2020年にマルセイユでダブルハンドイベントを行う予定である。

以上で本日の議事をすべて終了し、20時30分閉会した。

以 上

2018年 月 日

議事録署名人